

<http://www.ena-sukimai.com>

恵奈の里 次米みのり祭

テーマは「祭り・振る舞い・伝承」

いにしえより恵那は豊かな水と土に恵まれ、米作りが盛んでした。奈良県明日香村にある飛鳥池遺跡で発見された木簡には、677(天武6)年に恵那産の米が次米として朝廷に献上されていたことが記されています。

また、当時の都から強い影響を受けて造営された「正家廃寺」の存在など、東国支配の要所として朝廷がこの地を重んじていたことが伺えます。

そして、毎年9月に開催される「みのりのみのり祭」のなかで「みのり」のシンボルともいえる“お米”をテーマにしたイベントを開催。「米の収穫」を通じて、地域の再発見と次世代へ歴史・文化の伝承を行っていきます。

アサヒ新聞 三野園文 評 次米

すきまい 次米とは...

天皇が全ての神々にささげて収穫を感謝する祭事に使用する米のこと。
この神事は重要な儀式とされていました。



「写真コンテスト」応募募集!

次米みのり祭[第一幕～第五幕]に関する写真を募集致します!!

【応募期限】令和7年10月10日(金)～10月17日(金)

【提出形式】jpg形式データをUSBメモリにて、「題名_氏名」をファイル名にして提出。お一人様2点まで。
※ファイル名が不備の場合は受付できません。

【提出先】恵那市役所内長島振興室(恵那市役所 北庁舎内)

【入選発表】令和7年10月24日(金)

【賞品】最優秀賞1点、優秀賞5点にはそれぞれ次米5kgと表彰状

【備考】・入選者には本人宛に直接通知します。
・入選作は東美濃農業祭にて展示(予定)します。
・著作権は実行委員会に帰属します。

第五幕までのご紹介

第一幕

恵奈の里 次米お田植え祭 5/17(土)

第二幕

恵奈の里 次米抜き穂祭 9/20(土)

早乙女たちが次米みのり音頭に合わせ踊り、男衆がたわわに実った稲穂を刈り取ります。歌って踊って、秋の収穫に感謝しながら喜びを表します。



第三幕

恵奈の次米献納行列 (ENAみのりのみのり祭第1日目) 9/27(土)

“抜き穂祭”で収穫された新穀を次米として、郡の長官・評督(こおりのかみ)に献納するシーンを再現。古代装束姿で白馬に乗った阿利麻と従者、次米の旗を先頭に新穀を積んだ山車を里人60人が引き、次米みのり音頭に合わせて踊り子が踊ります。



第四幕

お米の楽市 (ENAみのりのみのり祭2日目) 9/28(日)

お米をテーマにしたブースを出展させます。

第五幕

恵奈の里から次米を 奈良・明日香に献納 10/8(水) 9(木)

毎年薬師寺(奈良市西ノ京町)が一山を上げて、686(朱鳥元)年の9/9(旧暦)に崩御した天武天皇を供養する法要「天武忌」を薬師寺の前庭で行います。この日に併せて恵奈の次米を天武天皇陵と薬師寺に献納します。



お田植え儀式とお米の祭典

会場配置図

配置や展示内容は当日変更になる場合がありますのでご了承ください。



販売・実演内容

- からすみ
- 五平餅
- パカンせんべい
- 朴葉寿司
- ゆず加工品
- 焼き肉のたれ



お問い合わせ

恵奈の里 次米みのり祭実行委員会(恵那市役所 観光交流課内)

TEL 0573-26-6830